



# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	地域協働部環境課	No.	1
事務事業名	ごみ減量・資源化事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(1)	持続可能な循環型社会の創造
事業目的	資源の分別を徹底することにより、循環型社会の構築を図るとともに、焼却ごみの減量を行う。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量・資源化施策の企画・立案</li> <li>・資源リサイクルセンターの管理運営</li> <li>・有機資源保管場所の管理運営</li> <li>・河北エコステーションでの堆肥化</li> </ul>		
現在における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンプカード制度のあり方</li> <li>・大規模小売店舗・老人施設の建設に伴うごみの増加</li> <li>・資源リサイクルセンターの職員体制</li> </ul>		
平成 23 年度 に向けた改善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンプカード制度については、カード発行日から 1 年間有効としていることから、直ちに廃止あるいは制度の変更を行うことができないため 23 年度中に方針を決定し、24 年度中に実施する。</li> <li>・大規模小売店舗等の建設があった場合、ごみ量は当然増加することとなり、23 年度事業系ごみ量がどの程度増加するか予測することは現時点では不可能なため、23 年度中に事業系ごみ量の将来予測を行い、新たな目標を策定する。または、家庭系のみのごみ減量目標を策定する。</li> </ul>		

## ■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
4	廃棄物減量等推進員分別説明会の実施 分別収集の変更点・注意点を説明 大規模小売店舗等からごみ減量計画書の提出 必要に応じヒヤリングを実施 平成23年度一般廃棄物処理実施計画の告示 資源物収集等委託契約の締結
通年	各月収集量の把握・対策の検討及び実施
1	平成24年度一般廃棄物処理実施計画（案）作成
3	平成24年度各種委託契約の準備

## □3年間の目標

目 標	.					
	.					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	. .
H25	. .

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	76,253	85,079	91,153
(内特定財源)		千円	7,139	4,943	8,705
人工	職員	人工		1.5	2.0
	臨時職員	人工		3.5	3.0
	計	人工		5.0	5.0

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
	13	資源物収集委託	20,042 (2,008)	リサイクルセンターごみ増加
	13	金属家電処理	1,344 (△966)	収集量の減少
	13	ペットボトル処理	3,045 (682)	収集量の増加
	13	乾電池・蛍光灯処理	1,831 (610)	扶桑町での一時保管分処理 1 回追加
	13	有機資源再生委託	9,719 (△872)	チップ化による運搬回数減少
	13	資源ごみ分別看板作成	2,079 (2,079)	新規
	18	備品購入費	0 (△3,160)	
合 計			38,060 (381)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
行政財産目的外使用料	3	
粗大ゴミ処理手数料	1,600	
資源ごみ等売払収入	7,097	
環境事業指定寄附金	5	
合 計	8,705	

## ■特記事項

--

## ■改善策等に対する取組内容

スタンプカード制度についての検討を環境課内で行い、平成24年度から3,000円の報奨金は、年度間で1回のみとすることとした。

事業系ごみの増加に対し、大規模小売店舗に堆肥化などでの処理を検討するよう指導した。

資源ごみの分別をさらに進めるため、地区集積場に分別看板を設置し、資源ごみ分別の徹底を図った。

## ■評価

焼却ごみの量が平成22年度と比較し微増する結果となった。

平成22年度焼却ごみ量 5,396.17 t

平成23年度焼却ごみ量 5,422.86 t

家庭系・事業系ごみのいずれも水切りや堆肥化の促進を図るなど、新たな施策を講じていかなければならない。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	地域協働部環境課	No.	2
事務事業名	環境共生事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	春夏秋冬、五条川のせせらぎが心を潤してくれる、ふれあいの遊歩道となるよう尾北自然歩道の管理を実施するとともに、五条川堤の桜の保全を図る。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふれあい池の管理・運営委託</li> <li>・ 五条川堤桜の維持・管理</li> <li>・ 尾北自然歩道維持・管理</li> <li>・ 桜まつり関係業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
現在における課題	五条川堤の桜も老朽化してきており、延命を含めた処置が課題となっている。		
平成 23 年度 に向けた改 善策等	平成 22 年度試験的に桜の消毒薬を一部変えてみたが、桜が老朽化しており、落葉するといった副作用がでてしまった。そのため、平成 23 年度は一昨年と同じ消毒に方法を戻す。		

## ■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
4	桜まつり
5	桜消毒
7	桜消毒
9	桜消毒
通年	桜枯れ枝伐採

## □3年間の目標

目 標	.					
	.					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	. .
H25	. .

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	43,967	22,432	22,688
(内特定財源)		千円	0	900	1,100
人工	職員	人工		1.0	0.7
	臨時職員	人工		0.2	0
	計	人工		1.2	0.7

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
03	13	桜消毒	2,730(△2,523)	桜消毒薬変更(従来に戻す)
	13	尾北自然歩道草刈	0(△1,050)	建設農政課で予算措置
	13	桜病害木処置	5,260(3,160)	枯れ枝など 331 本一斉処置
合 計			7,990(△413)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
ふるさとづくり基金繰入金	1,100	
合 計	1,100	

## ■特記事項

--



## ■改善策等に対する取組内容

桜の消毒について、消毒薬を一昨年と同様にするなどして効果を検証した。

## ■評価

桜の老朽化に対して有効な対策が見つかっていないため、今後樹木医等有識者に相談しながら、町内の団体とも協働しながら検討していく。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	地域協働部環境課	No.	3
事務事業名	環境保全対策事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	町内環境の維持、向上を図るため、水質・大気を始めとした環境衛生の向上を図る。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狂犬病予防業務</li> <li>・ 公害対策業務</li> <li>・ 環境保全・対策関係補助金交付業務</li> <li>・ 愛北広域事務組合（火葬場）関係</li> </ul>		
現在における課題	遊休地の管理が問題となっている。雑草・害虫など苦情が多く寄せられている。		
平成 23 年度 に向けた改 善策等	例年雑草の苦情が増加する夏前に広報等で土地の適正管理をお願いする。		

## ■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
4	狂犬病予防注射（集合注射）
5	町内ごみゼロ運動
6	町内河川水質調査
8	五条川自然塾
8	町内大気測定
12	町内河川水質測定
2	町内大気測定
通年	公害苦情など処理

## □3年間の目標

目 標	.					
	.					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	. .
H25	. .

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	25,229	28,345	32,701
(内特定財源)		千円	2,399	3,331	3,271
人工	職員	人工		1.0	1.2
	臨時職員	人工		0.1	0
	計	人工		1.1	1.2

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
03	19	愛北広域事務組合 火葬事業運営費	21,446(4,863)	
合 計			21,446(4,863)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
犬登録管理手数料	1,219	
合併浄化槽補助金	219	
太陽光発電補助金	840	
地盤沈下観測所管理委託金	107	
太陽光電力売り払い	96	
ふるさとづくり基金繰入金	790	
合 計	3,271	

## ■特記事項

飼えなくなった犬・猫の引き取りを県が有料化するため (H. 23. 4. 1) 町での引き取り中止

## ■改善策等に対する取組内容

広報8月号で、空き地の適正管理に関する記事を掲載した。  
雑草などの問題について、丹羽消防署と連携し土地所有者に指導を行った。

## ■評価

平成22年度雑草苦情受付件数 23件

平成23年度雑草苦情受付件数 21件

空き地の管理については、雑草の問題だけではなく不法投棄の原因となることも多々あるため、引き続き指導を行う必要がある。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	地域協働部環境課	No.	4
事務事業名	廃棄物処分手業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(1)	持続可能な循環型社会の創造
事業目的	廃棄物の適正処理を目的に、可燃ごみの1市2町での共同処理及び廃棄物の最終処分(埋立て処分)を委託にて取り組む。また、平成30年の新たな可燃ごみ処理施設供用開始を目標に2市2町で新たな処分場建設を進める。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄防止業務</li> <li>・可燃ゴミ処理委託業務</li> <li>・埋立てゴミ処理委託業務</li> <li>・新ごみ処理施設建設関係業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江南丹羽環境管理組合関係業務</li> </ul>	
現在における課題	平成22年度に引き続き、江南丹羽環境管理組合での大規模改修が予定されており、工事期間中家庭系の可燃ごみを小牧・岩倉衛生組合に搬入することとなり、可燃ごみの減量・ごみの排出時間の徹底が必要となる。		
平成23年度に向けた改善策等	可燃ごみは収集日当日の朝8時30分までに出すよう広報等で呼びかけを行うとともに、分別の徹底をお願いしていく。		

## ■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
4 通年 1	可燃ゴミ収集業務委託契約・埋め立てゴミ処理業務委託契約事務 新ごみ処理施設建設関係会議 施設建設候補地の地元同意 新ごみ処理施設建設に向けて一部事務組合の設立

## □3年間の目標

項目(単位)	H21計画	H21実績	H22計画	H23目標	H24目標	H25目標
目 標	.					

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	.
H25	.

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	179,860	237,858	221,510
(内特定財源)		千円	19,488	21,133	18,864
人工	職員	人工		2.5	2.5
	臨時職員	人工		0	0
	計	人工		2.5	2.5

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
03	11	消耗品	7,428(△9,014)	ごみ袋発注方法変更など
03	19	江南丹羽環境管理組合負担金	173,591(△7,867)	
合 計			180,868(△16,881)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
一般廃棄物処理業許可手数料	190	
可燃ごみ(家庭系)収集手数料	8,920	
江南丹羽環境管理組合負担金	4,854	
可燃ごみ(事業系)収集袋売払収入	4,900	
合 計	18,864	

## ■特記事項

--



## ■改善策等に対する取組内容

まちのカレンダーに、可燃ごみは当日の朝8時30分までに出すよう記載した。

## ■評価

江南丹羽環境管理組合の大規模改修が行われ、その間家庭系ごみを小牧岩倉衛生組合で処理することとなったがトラブルなく処理ができた。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	地域協働部 環境課	No.	5
事務事業名	し尿処理事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(1)	持続可能な循環型社会の創造
事業目的	し尿汲み取り、浄化槽設置者による浄化槽の適切な維持管理を実施することにより、町内環境の維持・向上を図る。		
業務内容	・し尿汲み取り助成金交付業務 ・し尿汲み取り委託業務 ・愛北広域事務組合関係業務		
現在における課題	浄化槽の清掃が行われていないことによる、悪臭等の発生		
平成 23 年度 に向けた改 善策等	浄化槽の適切な維持管理の啓発を行う。		

## ■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
毎月	し尿汲み取り助成金の交付決定・支払 愛北クリーンセンター搬入計画の策定

## □3年間の目標

項目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標
目 標	.					

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	.
H25	.

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	38,961	43,530	37,930
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工		0.5	0.6
	臨時職員	人工		0.1	0
	計	人工		0.6	0.6

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減 (前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
03	19	愛北広域事務組合 し尿処理場運営費	35,195 (△5,330)	
合 計			35,742 (△5,330)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
合 計		

## ■特記事項

愛北広域事務組合が五条川右岸下水道処理施設へ放流する下水道整備工事の実施 (23 から 25 年度)

## ■改善策等に対する取組内容

浄化槽の適正な維持管理について、まちのカレンダーに記載した。

## ■評価

平成23年度中浄化槽の維持管理が適切に行われていないことに起因する苦情は1件もなかった。